



多様なニーズに応える企業経営と環境の調和

柔軟な感覚による顧客への“仕掛け”



長野県松本市島内平瀬6972

(有)浜農場 代表取締役

HAMA IKURO

濱 幾郎





I. 浜農場の変遷

昭和40年代～50年代前半

昭和50年代前半～60年代

平成～

畜産肉牛

土地利用型作物の生産

果樹栽培

消費者交流 (自給自足の会)

大豆トラスト・市民農園

●就農

●作業受託の開始

●重機作業の作業受託

●販売活動

●組合員の独立

●島内農業生産センター

●平瀬高度集団栽培組合設立

●(有)浜農場 設立

●ライスセンター誘致・建設

●二毛作による転作体系を導入

●契約栽培開始

規模拡充

環境・安全

長野県環境にやさしい農産物認証

社会・農業環境

■農地補償法公布

■第1次オイルショック

■省エネブーム

■農地改正法

■異常冷夏

■特別栽培米制度

■農業協同組合連合会設立

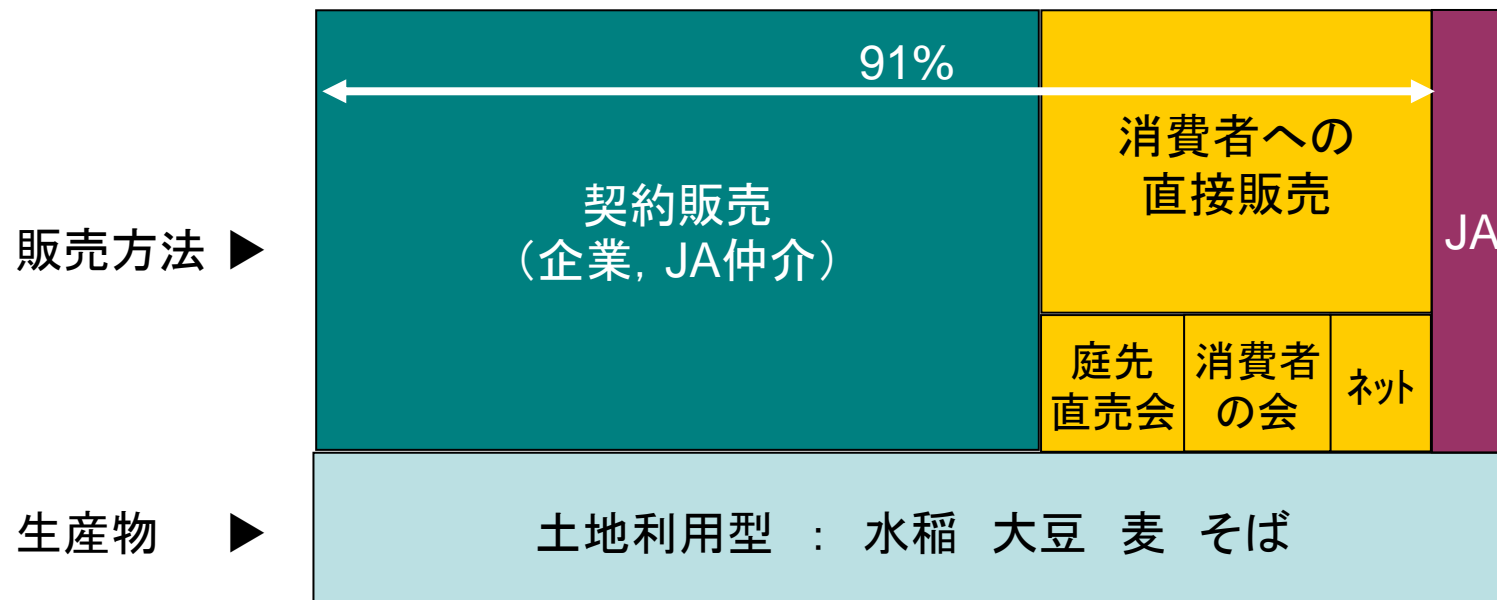
■米の自由化

□基盤整備 制度

■オレンジ・牛肉の輸入自由化



Ⅱ. 経営の多角化



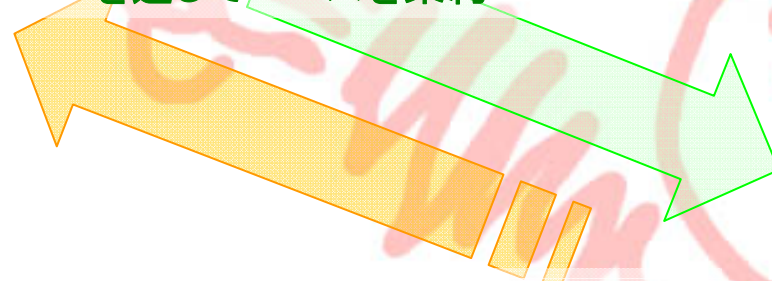


Ⅲ. 消費者ニーズと経営



- 安い
- 美味しい
- 安全
- ... etc

直売会、『自給自足の会』
を通じてニーズを集約



会報, ホームページを
用いた案内

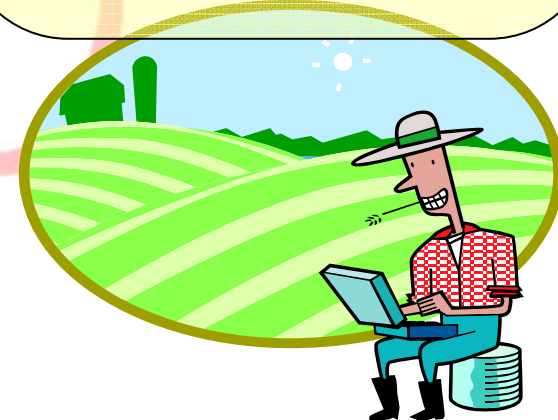
長野県
環境にやさしい農産物認証



農薬・化学肥料の削減
温湯種子消毒
田畑転換
畦塗り・深水管理
健苗育成・施肥設計の工夫
特注の肥料
+
松本市の気候



安全な食料の生産





IV. 品質改善と収量確保への努力

土壌分析
穀物水分測定
空洞程度の観察



水稻 試験栽培 6種類など
農事試験場の試験圃による
新しい品種への取り組み



- ◆ 適期収穫の最優先
- ◆ 複数品種の栽培
- ◆ 適度な栽培規模の維持
- ◆ 発芽の均一性の維持
- ◆ 土壌の細粒化
- ◆ 土壌改良資材の投入
- ◆ 土壌診断に基づく施肥設計
- ◆ 適期適量追肥
- ◆ 日々の観察と細やかな管理

環境に無理をさせず、観察・管理の眼・人の手間で安定した収量・品質を維持する。



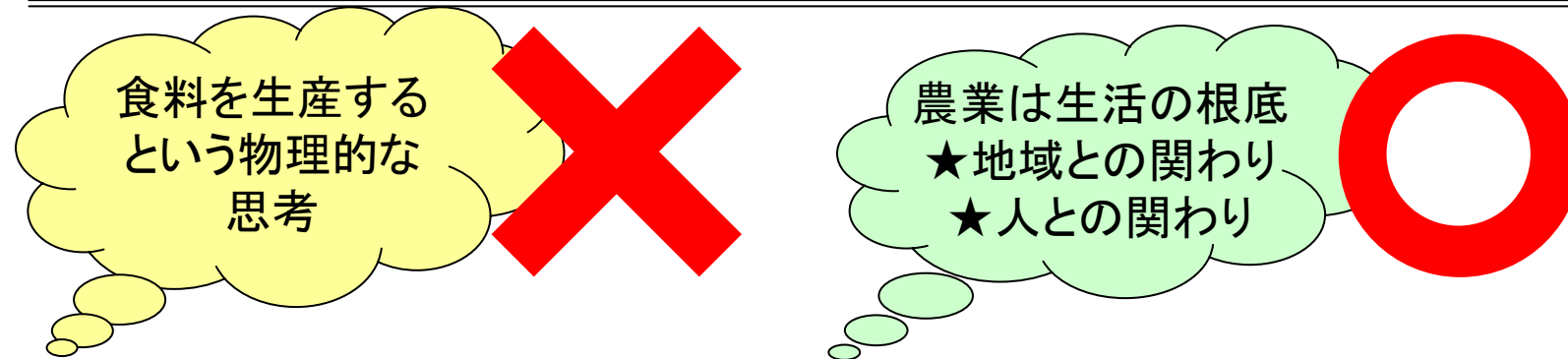
V. 浜農場の試み・仕掛け

- 島内農業生産センターなど組合事業
- 信州大学農学部 of 育成種の試験栽培
- 信州大学の研究への参加
- 株式会社タカノ「高嶺ルビー」の栽培
- 県内で最初の「すすこまち」の契約栽培
- 長野県農事試験場の改良新品種「ねばりこし」、新形質米品種「しなの深紅」の県内で最初の営利栽培
- ミャンマーでのそばの普及活動
- 松本市消費者の会内での「大豆トラスト」活動
- 長野県農業経営者協会松本支部長
- 農業県修正の受け入れ、Iターン農業者の定着、地域の農業後継者の育成





VI. 農業と生活の関わり



◆「車屋堰」保全事業

(清掃活動、そば会、ホタル、精霊流し)

◆自給自足の会

◆テレジア農園

◆大豆トラスト



□ 農園に来る人に楽しみを与える。

□ 地域の人々から授かり、還元する。

□ 地産地消の生活スタイル

農業(百姓)の経営は、利益の追求のみではなく、「健康」や物を作るという満足感による「心の豊かさ」、消費者・生産者を問わず農作物に関わる全ての人が、「みんな仲良く楽しく」あるように経営していくものでありたい。



VII. これからの浜農場

- 長野県「環境にやさしい農産物認証」の基準を満たす以上に安全な食物の提供を維持、継続する。
- 地域密着型、地産池消型の経営の強化。
- 消費者参加の農産物供給農場の実現。
- 消費者からのニーズだけではなく、地球からのニーズを満足させるような環境を第一に考え、自然の力を活かした農産物生産の充実。
- 「健康」や「心の豊かさ」追求のために手間暇をかけた生産の継承。





有限会社 浜農場

第52回全国農業コンクール 種芸部門 発表資料

2003年7月22日

長野県松本市島内平瀬6972

HAMA IKURO

濱 幾 郎